

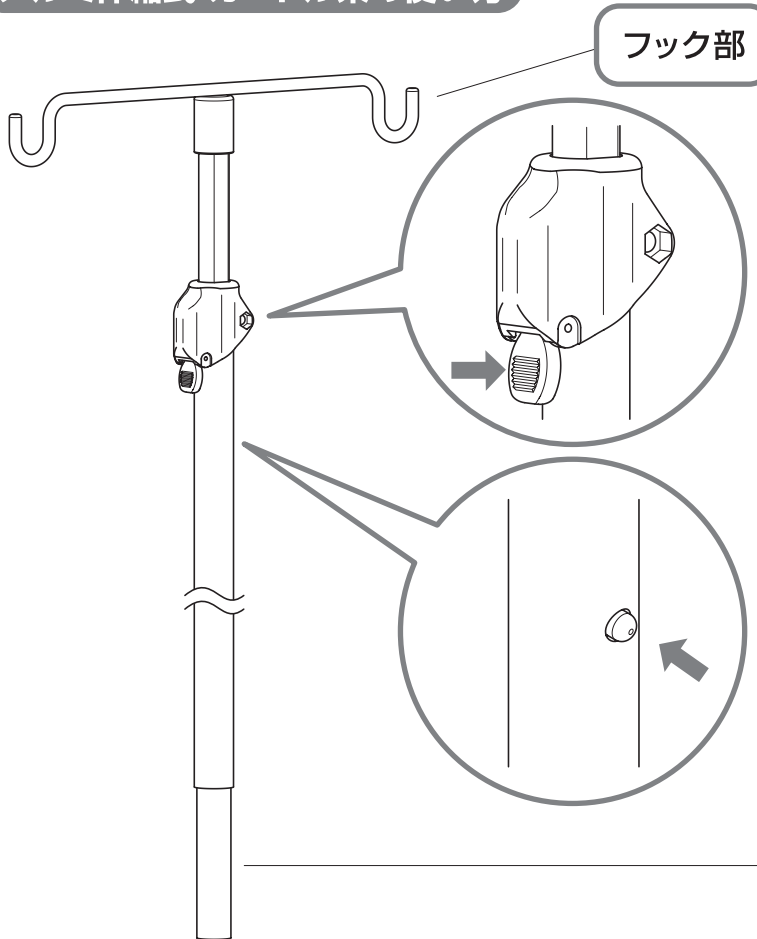
〈ガートル架／受金具 取付け・取扱説明書〉

このたびは、ガートル架／受金具をお買い上げいただき、ありがとうございます。
正しく、安全にご使用していただくために、この説明書をよくお読みください。
また、大切に保管し、必要に応じてお読みください。

ご使用前に

- ガートル架の耐荷重は2.0kgです。輸液パック以外のご使用の場合は、お買い求めの販売店または、(株)松永製作所までお問い合わせください。
- ガートル棒を装着時に、人が乗っていない状態でも車いすの4輪すべてが地面に接地していることを確認し、また安全性に問題がないことを確認してからご使用ください。

アルミ伸縮式 ガートル架の使い方



受金具のみご購入の場合は、
次のページからお読みください。

プッシュロック

高さ調節を行う際に使用します。
押すとロックが解除され、高さ調節が行えます。

高さ調節は5段階可能です。
945 / 1,045 / 1,145 / 1,245 / 1,345mm

ピンロック

ガートル棒を最高使用位置よりも伸ばした時に抜けてしまわないようにストッパーが付いています。

ロックした場合は、ピンを指で押さえながら、ガートル棒を縮めてください。

取付け部 (先端の細い部分)

直径19mm用の受金具に使用してください。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性があること、および物的損害の発生する可能性が想定される内容を示しています。

- フック部で顔や目などケガをしないように注意して使用してください。
(介護者の方や、車いすに取り付けて使用する場合は周囲の方に注意して使用してください。)
- 高さ調節を行った際は、プッシュロックが完全にロックされているか確認してください。
(ロックされていない場合、ガートル棒が急に縮みフック部が頭部に当たるなどケガをする恐れがあります。)
- ガートル架以外の目的で使用しないでください。
- 高さ調整の際、伸縮パイプを勢いよく引っばらないでください。
伸縮パイプが抜け破損の原因となります。

ガードル架受金具の取付け・使用方法

取付け可能な車いす

取付け前に、下記の条件を確認していただき、取付け可能かどうか確認してください。

前方取付けタイプ

- 取付け場所のパイプ直径が、 $\phi 19\text{mm}$ ～ $\phi 22\text{mm}$ のもの。
($\phi 19\text{mm}$ 未満の場合……固定できない場合があります。)
($\phi 22.5\text{mm}$ 以上の場合…取付けステーが破損する可能性があります。)

※取付ける場所に、スイングアウトユニットやブレーキステーなど他の付属品がある場合には取付けることが出来ない場合があります。

後方取付けタイプ

- 自走用または介助用の車いすで、押手がある車いす。
- 押手部のパイプ直径が $\phi 19\text{mm}$ ～ $\phi 22\text{mm}$ のもの。
($\phi 19\text{mm}$ 未満、または $\phi 22.5\text{mm}$ 以上の場合…固定できない場合があります。)
- 自走用または介助用の車いすで、ティッピングレバーがある車いす。
- ティッピングレバーの直径が、 $\phi 19\text{mm}$ ～ $\phi 22\text{mm}$ のもの。
($\phi 19\text{mm}$ 未満の場合……固定できない場合があります。)
($\phi 22.5\text{mm}$ 以上の場合…取付けステーが破損する可能性があります。)

※取付ける場所に、スイングアウトユニットやフットブレーキ・転倒防止など他の付属品がある場合には取付けることが出来ない場合があります。

構成部品

下記の部品が同梱されているかどうか確認してください。

前方取付けタイプ		
No.	部品名	数量
F-①	前方ガードル架受金具本体	1
F-②	受金具ステー	1
F-③	ボルト (M6×15mm)	2
F-④	ノブボルト	1
F-⑤	チューブ	1
	六角レンチ (対辺5mm)	1

後方取付けタイプ		
No.	部品名	数量
R-①	後方ガードル架受金具本体	1
R-②	受金具ステー	1
R-③	ノブボルト	1
R-④	上方ガードル架ホルダー	1
R-⑤	クランプA	1
R-⑥	クランプB	1
R-⑦	チューブ	1
R-⑧	ボルト (M6×28mm)	2
R-⑨	ボルト (M6×35mm)	1
R-⑩	スプリングワッシャー (M6)	3
R-⑪	ナイロンナット (M6)	2
	六角レンチ (対辺4mm)	1

必要な工具

後方取付けタイプのみ
・スパナ (10mm)

※電動工具の使用はご遠慮ください。
(部品を破損する恐れがあります)

取付け方法

取付け前に

取付けは、平坦な安全な場所で行ってください。
車いすが折りたたみ式の場合は、開いた状態で行ってください。
必ずブレーキをロックし、車いすが動かない状態で行ってください。

⚠ 注意

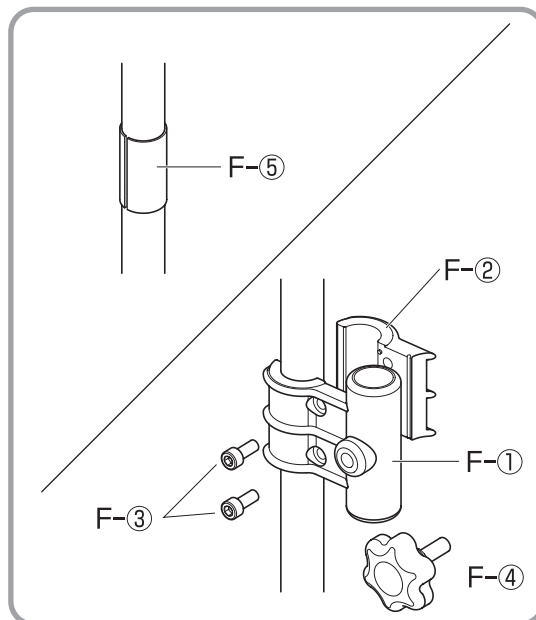
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性があること、および物的損害の発生する可能性が想定される内容を示しています。

- 取付けの際には十分注意しケガをしないようにしてください。
- 取付け後は、ガードル架受金具が確実に固定されていることを確認してください。
- 無理に取付けを行うと、使用中にガードル架を落下したり、ガードル架受金具が破損する恐れがありますので、その場合にはお買い上げいただいた販売店、または(株)松永製作所までお問い合わせください。

前方取付タイプの取付け方法

※ガードル架受金具は、左右どちらでも取付けることができます。

1. ガードル架の取付け位置を確認してください。
2. 取付け位置のパイプの直径がφ19mm～φ22mm未満の場合は、ガードル架取付け金具を取付ける位置のほぼ中央に、チューブF-⑤を巻いてください。パイプの直径がφ22mmの場合は必要ありません。
3. 前方ガードル架受金具本体F-①を取付け位置にはめ、反対側に受金具ステーF-②をはめます。
4. 前方ガードル架受金具本体F-①側からボルトF-③ 2本で止めてください。(前方ガードル架受金具本体F-①と受金具ステーF-②が取付け位置のパイプに密着するまで締めてください。ただし、チューブを使用した場合はチューブに密着するまで締めてください。)
5. ガードル架受金具にがたつきがないか確認してください。

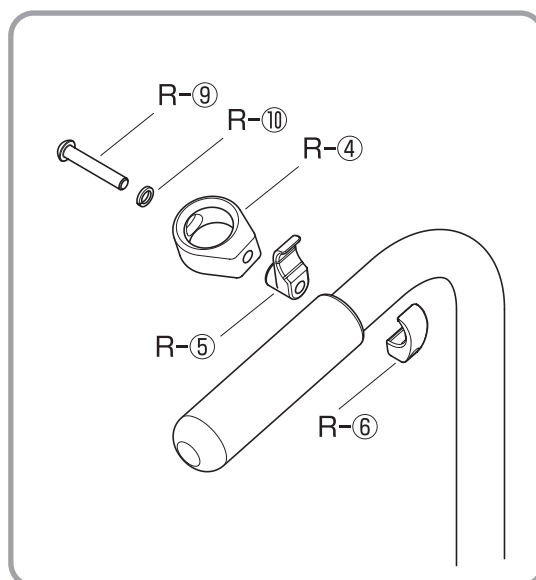


後方取付タイプの取付け方法

※ガードル架受金具は、左右どちらでも取付けることができます。

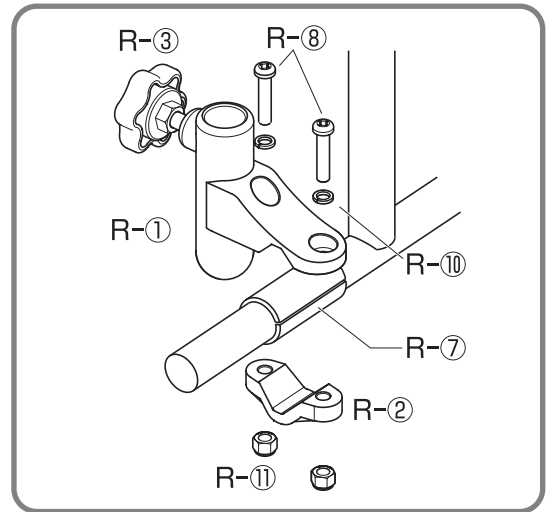
<上部受金具の取付け>

1. ガードル架の取付け位置を確認してください。
2. ボルトR-⑨ (ねじ部長さ35mm) にスプリングワッシャーR-⑩を通し、続いて上部ガードル架ホルダーR-④、クランプA R-⑤に通します。
3. クランプA R-⑤を押手パイプに合わせ、反対側にクランプB R-⑥をはめて、ボルトを締めます。
4. 受金具にがたつきがないか確認してください。
(がたつきがある場合はボルトを締めなおしてください。)



<下部受金具の取付け>

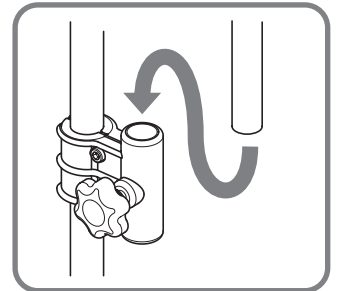
1. 上部受金具を取付けた真下に下部受金具を取付けます。
(上部受金具にガードル架を通し位置を確認すると確実です。)
2. ティッピングレバーのガードル架受金具を取付ける位置の
ほぼ中央に、チューブR-⑦を巻いてください。
3. ボルトR-⑧ (ねじ部長さ28mm) にスプリングワッシャーR-
⑩を通し、後方ガードル架受金具R-①の穴に上から通して
ください。
4. ティッピングレバーを挟むように受金具ステーR-②にボルト
を通し六角ナットで固定します。(ステーには六角形状の穴
が開いていますので、ナットが中に入るようにしてください。)
5. ガードル架受金具にがたつきがないか確認してください。
(がたつきがある場合はボルトを締めなおしてください。)



受金具の使い方

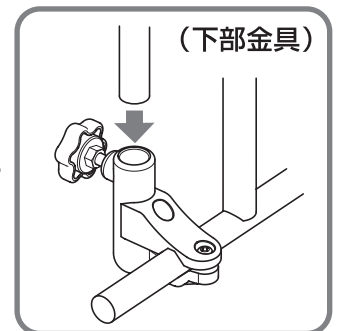
前方取付タイプの使い方

ガードル架を受金具に通し、ノブボルトを締めてください。
ガードル架を受金具よりも下側に突き出る場合は、車いすの
キャスタなどに当たらないか確認してください。
また、ノブボルトがしっかりと締まっているか確認してください。



後方取付タイプの使い方

ガードル架を上部受金具の輪の中に通し、
そのまま下ろします。
下部受金具に通し、ノブボルトを締めてください。
(ガードル架は下に突き抜けません。)



⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性があること、
および物的損害の発生する可能性が想定される内容を示しています。

- ガードル架が抜け落ちたりしないように、しっかりとノブボルトで固定してください。
- 特に、前方取付タイプは下側に突き出る場合がありますので、車いす使用者の足やキャスタなどに当たらない
か確認し、走行中には障害物に当たることがないか注意して使用してください。

お手入れの方法

- 清掃する場合は、水につけたタオルを強くしぼり、泥やホコリを拭き取った後に、乾いた布で仕上げ
拭きをしてください。
- 揮発性剤 (シンナー・ベンジン・アルコール類) は使用しないで下さい。
(変色・劣化の原因となります。)



株式会社 松永製作所
〒503-1272 岐阜県養老郡養老町大場484
TEL0584-35-1180(代) FAX0584-35-1270
URL <http://www.matsunaga-w.co.jp>